

第40回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第40回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成30年6月27日（水） 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	2人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>議題</p> <p>(1)「平成29年度河内長野市地域公共交通会議決算報告」について</p> <p>(2)「平成29年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、 日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状 況について</p> <p>(3) 企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて</p> <p>(4) モックルコミュニティバス新車導入について</p> <p>(5) 平成31年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）認定申請につ いて</p> <p>(6) 高齢者公共交通利用促進事業について</p> <p>(7) その他</p>
会議内容	別紙会議内容のとおり

## 第40回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 第40回河内長野市地域公共交通会議開会の案内</li> <li>➤ 新委員の紹介</li> <li>➤ 各委員の出欠状況の報告</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【議題1】「平成29年度河内長野市地域公共交通会議決算報告」について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料1について説明。 (各委員の主な発言内容は以下のとおり)</li> </ul>
甲斐委員 (監事)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 平成29年度河内長野市地域公共交通会議の歳入・歳出決算について、歳入・歳出の帳簿及び関係書類を審査したところ、全て適正に処理されている。</li> <li>➤ 審議の結果、承認を得る。</li> </ul>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">【議題2】「平成29年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状況について</div>	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 資料2について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</li> </ul>
稲沢委員 (近畿運輸局)	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ くすまるについて、他の地区では見られないような取り組みを楠ヶ丘でされているが、このような取り組みは地域内で知恵を出しているのか、それとも外部から知恵を頂いているのか。他の地区では利用者数が伸び悩んでいる地域も多いため、お伺いしたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 地域の方が中心になって行っている。平成22年度に試行運行、23年度に本格運行をしていく中で、地域の中で運行を守るためにできることをしていこうという意識が芽生えてきた。最近、初期のメンバーの世代交代が進み、新メンバーになってからも運行を守って行かないといけないという意識は受け継がれている。昨年度は、やれることはやりつくしたということで、この会議の副会長でもある大阪市立大学の日野先生にも来て頂き、勉強会を開催した。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ くすまるの活動は、地域の方が頑張っているということだが、最初は行政が勉強会を開催し、学識経験者も入っていった。私も生の意見を聞きに行った。そろそろ限界ではないかということで、近隣の地域にも声掛けしたり、色々な取り組みを見せて貰った。色々なサービスをしているので、どれくらいまで可能なのかわからないといけない。行政が赤字の補てんをしており、それを削減しないといけないという考え方があるが、赤字の補てんは投資である。くすまるで楠ヶ丘地区の活動が活発になっており、地域のコミュニティ力は確実に</li> </ul>

に高まっている。福祉の面など、他の面で効果が今は見えてなくてもいずれは出てくる。投資する価値があるという考え方があることを知ってほしい。日野・滝畑コミュニティバスについて、道の駅 奥河内くろまろの郷エリアの来場者数と日野・滝畑コミュニティバス利用者数の関連について資料に書いているが、どれくらいの経済効果があるかということを見極めてほしい。阪神タイガースが優勝すれば、経済効果が云々といった報道があったように。そうすると、商工会や観光協会と連携できるので、データを出して行ってほしい。正確でなくてもいいので、こんな効果があり、ここでの実績がこんな効果あったよねとやる気にも繋がる。モックルバスの上限200円運賃もずっと試行するわけにもいかない。やった効果についても考えていかないといけない。

**【議題3】企画乗車券 PR チラシ・ポスターについて**

事務局

- 資料3について説明。  
(各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)

仲村委員  
(市民公募)

- モックルカードの特典は1回限りの利用なのか？それとも複数回利用可能なのか？

事務局

- 複数回利用することができる。

仲村委員  
(市民公募)

- 1回の乗車で複数回ということか？複数回乗車して複数回使えるということか。

事務局

- バスにご乗車して頂いた日に限って、別々の店舗でご利用して頂くことが出来る。

仲村委員  
(市民公募)

- 分かりやすく、丁寧に書いた方がいいと思う。

事務局

- 使い方が分かりやすいように工夫していきたい。

甲斐委員  
(市民公募)

- 楠ヶ丘で5月のくすまる無料乗車デーの日に、「くすまる散歩」というくすまるとモックルバスを乗り継いでお出かけするという企画をした。三日市町駅で乗り換えをするのだが、モックルカードはバスに乗ってからでないと特典を利用できず、不便と感じた。乗る前でも使えるように、融通が効けばいいなと思ったのと、モックルカードはICに移行する中で難しいと聞いたが、販売場所が河内長野駅周辺しかない。ICに移行するまでもいいので、販売場所を増やしてほしい。乗務員さんからも購入はできるが、忙しそうにされていて声をかけづらい。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特典はカードに印字された日でないと利用できない。印字されていないカードを持っているだけで、無制限に利用されてしまうという問題がある。今回頂いたご意見は参考にしたい。販路の拡大については、南海バスと協議していけたらと思う。</li> </ul>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 特典はモックルカードでないと受けられない。普通にバスで来ただけでは、証拠が残らないから渡せない。降りるときに乗車した証明書があれば特典を付与するなど、今後、そういうことが可能なのかどうかを考えてみたらいいと思う。JAFだといっぱい特典が付いてくる。チケットを切り取って、違うサービスを受けられるという制度を作ったらいいと思う。これをしたらバスの利用者が増えているということを証明しないとイケない。さっきの話だと、道の駅 奥河内くろまろの郷の来場者数がモックルカードの特典利用者数と連動して増えたのなら、これの効果で増えたと言えて、今後いろんなことを考えられると思う。 南海バスさんに言いたいのが、岩手とか長崎の方で、バスの中に磁器カードの販売機がある。運転手さんに言わなくてもカードを買える。最近、低床バスなどで中々難しいかもしれないが、運転手さんに気兼ねなく買えると思う。検討してほしい。</li> </ul>
梶井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事務局でも調べて欲しい。運転手さんの代表で坂本委員も会議に来て頂いている。バスの運行中、運転手さんに売って下さいと言えば喜んで売ってくれると思うが、先程の話は大事な話だと思う。</li> </ul>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>【議題4】モックルコミュニティバス新車導入について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資料4について、説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;">       モックルコミュニティバス新車導入記念式典の様子が放送されたJ:COM「デイリーニュース」(6月12日放送分)を約3分程度視聴     </div>
坂本委員 (南海バス労働組合)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 路線で些細なことだが、「大阪南医療センター玄関口」と「大阪南医療センター前」を勘違いするお客様がおられる。バス停名の変更を考えて欲しい。</li> </ul>
梶井会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 現場の貴重なご意見だから、事務局も検討してほしい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 今回はモックルバスのみの変更で、当該バス停は路線バスも通るバス停だから、全体の変更がある際に、南海バスと協議出来たらいいと思う。</li> </ul>
事務局	<p style="text-align: center;"><b>【議題5】平成31年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー)認定申請について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 資料5について、説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</li> </ul>

上野委員 (観光協会)	➤ 資料にページがついておらず、わかりにくい。
日野副会長	➤ 運輸局にお伺いしたい。地域間幹線がダメになれば、このフィーダーもダメになるのか。
木原氏 (近畿運輸局)	➤ このフィーダーが接続する地域間幹線系統について、この会議では枝葉の部分のフィーダーの部分についての議論だが、昨日の分科会では、地域間幹線系統について関係する自治体、交通事業者に承認をもらった。この地域間幹線系統の天野山線1は和泉市と河内長野市をまたがっている赤字系統であり、補助金の対象となっている。この地域間幹線系統の利用者数は、減少傾向にあり、異なる市をまたがっているため、なかなか連携しづらい。一体となって対策をしてくれないと地域間幹線系統の補助金をもらえなくなる。そうすると、フィーダーも一緒になって補助金をもらえなくなってしまうので、是非一緒に対策をして頂きたい。和泉市でも、河内長野市で策定済みの地域公共交通網形成計画を策定する予定と伺っている。
榊井会長	➤ 今後の国への申請手続段階での字句等、軽微な修正については事務局一任の承認を得る。
<b>【議題6】高齢者公共交通利用促進事業について</b>	
事務局	➤ 資料6について、説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)
日野副会長	➤ タクシー割引券が自宅に送られてきて、お嫁さんや子どもさんが使った場合、どうするのか。
事務局	➤ 明らかに75歳以下であれば、使って頂くことができない。免許証など証明ができる物を出してもらうことは難しいのかなと考えている。
日野副会長	➤ 効果検証するときに、今まで外出していない人が、タクシー割引券があると外出するかと聞かれれば、まずしない。宣伝の方法としては、お孫さんと一緒に出かけよう等、行き先があって効果がでるわけだから、もうちょっと方針を決めて、使い方をしっかり決めたらいい。目標を定めないと、この場で評価をして下さいと言われても、我々も困る。皆さんから意見頂いて、どうしたら良いか考えていったら良いと思う。
榊井会長	➤ 実際に配ってからどう使ってもらうのが良いか考えている。1番良いのは、お孫さんと一緒に河内長野駅前に出かけて、帰りに絵本をねだられて買って帰るとか、そんな形がいいのかなと思っている。事務局でも何が1番良いか考えているので、何かお気づきの点があったらご連絡を頂きたい。
日野副会長	➤ 郵送するときの案内の文章を、ここで皆さんに見てもらったら良いと思う。

事務局	<p>➤ 案内の仕方については、会議の中でできるかはわからないが、個別にも相談したいと思っている。今年度はタクシーのみの補助だが、たたき台を作ってまた来年度はバスも含めて検討していけたらと思っている。</p>
	<p><b>【議題7】その他案件について</b></p>
事務局	<p>➤ その他の案件について説明（①は口頭説明のため資料なし）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自動運転について（報告）</li> <li>②市民まつりについて（報告）</li> <li>③交通環境教室について（報告）</li> </ul>
榊井会長	<p>➤ 市民まつりでは、子どもたちは制服を着て写真を撮ってもらっており、喜んでいた。そこから今度、バスやタクシーに乗りたいと思ってもらうきっかけにもなって興味が湧いてくれたらいいなと思っている。</p>
日野副会長	<p>➤ 警察も心配していると思うが、車が減多に通らないような町が自動運転の対象となっている。河内長野市のような大阪の衛星都市ではあまり想像つかない。車が追い越す時、どう対応するかの議論がない。本当に可能なことなのか、警察とも議論して欲しい。</p> <p>もう1つは、公共交通は環境に優しいと言っていたが、最近では電気自動車も普及しており、公共交通が環境に優しいとは必ずしも言えなくなっていると思う。そうではなくて、どちらかと言うと「環境に優しい公共交通」よりも「人に優しい公共交通」という考え方があると思う。自動車の進化は早いので、そういう考え方にした方が良い。</p> <p>同伴者割引について、もっとアピールして、使ってもらえる人が増えると赤字になる。どう頑張っても100%は超えないが、赤字の補てん分は投資であるという考え方をしてほしい。そういう考え方を元に、公共交通に投資をしてほしい。そういう考え方を元に、決算を挙げてほしい。千代田線の話にしても、効果が上がっているところではそういう考え方もしてほしいし、そういう考え方を出来るようにバス事業者も情報を出してほしい。</p> <p>公共交通は、バス・タクシーと考えられているが、メインは鉄道である。鉄道へのフィーダーとしてしか考えるのではなく、鉄道の1駅とバスは繋がって使うことが多い。鉄道とバス、タクシーを含めたネットワークを考え、域内の料金体系を考えて欲しい。最近、大阪シティバスを乗ると、地下鉄とバス、バスとバスを乗ると100円引きであり、お得感がある。南海バスもATCへの路線も上手くいっている。交通事業者からの意見も頂けたら有難いと思っている。</p>
事務局	<p>➤ 今回頂いたご意見は今後の参考にしたいと考えている。次回開催は、未定であるが、開催日が決まれば速やかに連絡したい。</p>

榊井会長

➤ 本日は、貴重なご議論ありがとうございました。

以上

第40回河内長野市地域公共交通会議 委員名簿

	氏名	所属・役職	出欠状況
会長	榊井 繁春	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学 名誉教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	欠席
委員	稲沢 文啓	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	
委員	後藤 孝行	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	代理：木原専門官
委員	植澤 徹也	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	白井 康之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	欠席
委員	松本 広明	大阪府 河内長野警察署 交通課 課長代理	
委員	芥子 孝満	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	岩佐 浩二	南海バス株式会社 営業部 営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
委員	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 長野営業所長	
委員	小谷 和也	近鉄タクシー株式会社 業務部長	
委員	中野 崇	南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 統括部 課長	
委員	森本 治実	近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部 課長兼鉄道本部 企画統括部 営業企画部 課長	欠席
委員	山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長	欠席
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長	
委員	若林 勝美	河内長野市商工会理事	欠席
委員	仲村 義郎	市民公募	
委員	甲斐 由紀	市民公募	
委員	洞淵 元秀	河内長野市保健福祉部長	
委員	太口 智裕	河内長野市環境経済部長	
委員	梅谷 武博	河内長野市都市づくり部長	
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長	
委員	小林 章良	河内長野市総合政策部長	